

## 藤岡地域バス 無料日の設定について

## 1 目的・ねらい

普段藤岡地域バスを利用しない方に利用のきっかけを提供し今後の利用につなげるために、藤岡地域バス運営協議会の発意により、利用者に運賃負担を求めない運行日を設定・実施する。

## 2 実施日

平成26年8月1日・8日・22日・29日 いずれも金曜日  
※8月15日（金）は川口・飯野線が運休のため実施せず

## 3 対象路線

藤岡地域バス3路線（三箇線、西市野々線、川口・飯野線）

## 4 利用者負担等

利用者負担はなし（ただし、定期券利用者を除く）。  
乗車時に大人・小人（小学生）の別を運転手に告げ、それぞれ乗車券を運賃箱に投入。

## 5 運賃負担

運賃は藤岡地域バス運営協議会が負担。  
利用者が運賃箱に投入した乗車券を、正規運賃と同額（大人 1枚200円 小人 1枚100円）で精算。

## 6 管理体制

運行日当日の緊急時については「豊田市地域バス運行における事故等対応マニュアル」により対応。

## 7 PR方法

支所だより、自治区回覧、バス停やバス車内でのポスター掲示により告知。

## 8 利用実績

【西市野々線】	区分	8月1日	8月8日	8月22日	8月29日	区分合計
	大人	51	64	71	43	229
	子ども	10	18	21	24	73
	定期券	4	0	6	0	10
	日合計	65	82	98	67	312

【三箇線】	区分	8月1日	8月8日	8月22日	8月29日	区分合計
	大人	33	26	41	43	143
	子ども	4	36	13	15	68
	定期券	0	0	0	0	0
	日合計	37	62	54	58	211

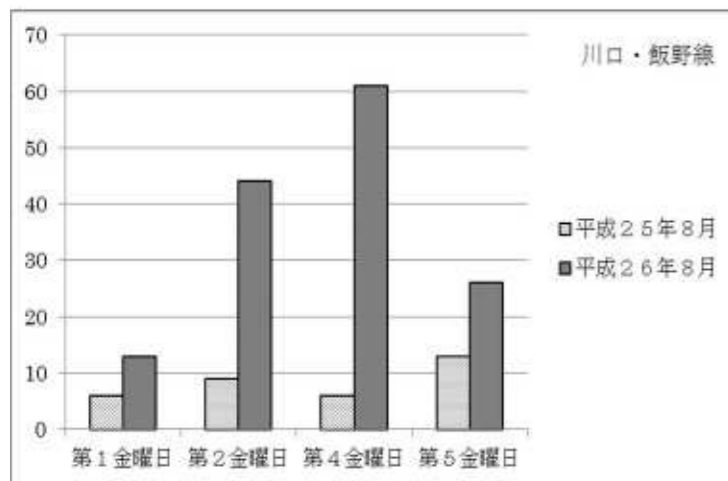
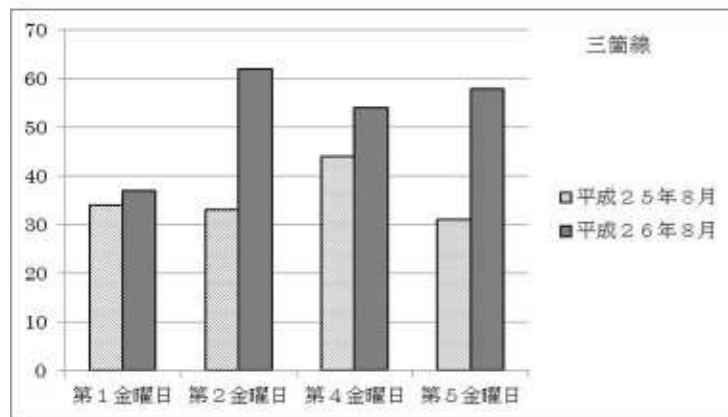
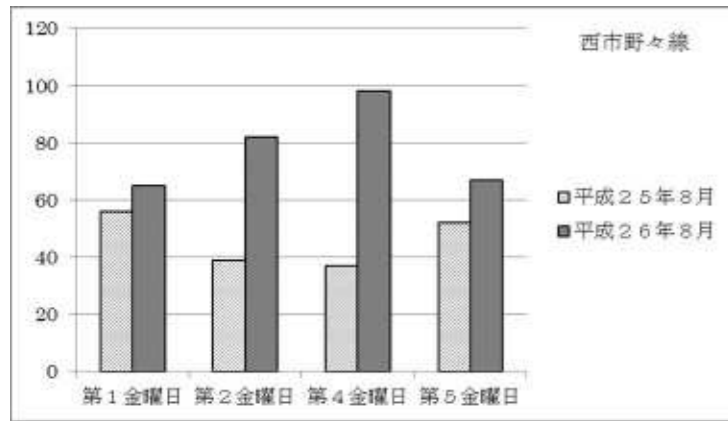
【川口・飯野線】	区分	8月1日	8月8日	8月22日	8月29日	区分合計
	大人	13	26	34	23	96
	子ども	0	18	27	3	48
	定期券	0	0	0	0	0
	日合計	13	44	61	26	144

【3路線合計】	区分	8月1日	8月8日	8月22日	8月29日	区分合計
	大人	97	116	146	109	468
	子ども	14	72	61	42	189
	定期券	4	0	6	0	10
	日合計	115	188	213	151	667

## 9 検証

### (1) 利用人数の比較

無料運行を実施した第1・第2・第4・第5金曜日（第3金曜日は川口・飯野線が運休のため実施せず）について、前年度との利用人数の比較は次のグラフの通り。



○いずれの実施日も、前年度と比して利用者数が増加している。

○前年度の利用者数が概ね横ばいで推移していることに対し、今回は実施回数を重ねるごとに利用者数が増加する傾向が見られた（西市野々、川口飯野線の最終日を除く）。これは無料運行の周知が浸透したことや、利用者の再利用、利用者からの口コミによる伝達などが想定される。これらのことから、今回の周知方法については一定の効果があったと認識している。なお、具体的な周知方法は以下のとおり。

- ・自治区回覧
- ・支所だよりによる告知
- ・バス停、バス車内のポスター掲示

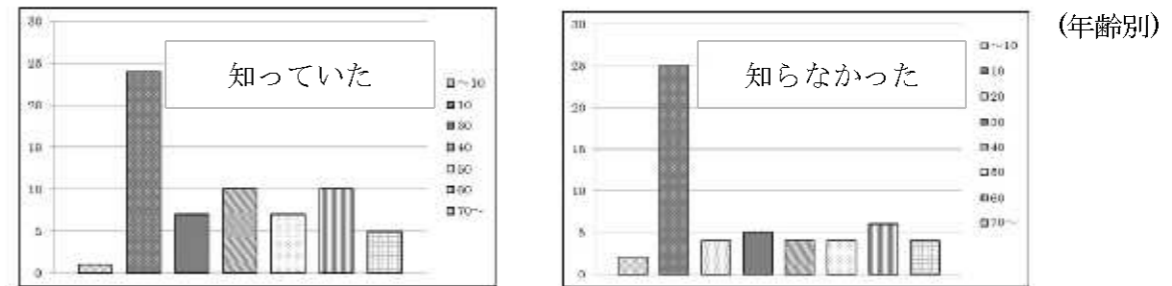
○利用実績のうち、特に突出している西市野々線（第4金曜日）、三箇線（第2金曜日）、川口・飯野線（第2、第4金曜日）については、内訳として子ども利用が多くなっているのが特徴である。

○このうち、西市野々線の第4金曜日の乗降動向を見ると、藤岡支所から乗車しメグリア藤岡店で下車する人数が多くなっている。このことから、例えば買い物という日常活動においても、今回の無料運行が移動手段を変えてみようという意識を誘発するきっかけになったのではないかと推測する。

### (2) アンケート結果

藤岡地区コミュニティ会議主催 ふれあいフェスタ（平成26年11月2日土曜日）にて、藤岡地域バス運営協議会委員による聞き取りアンケートを実施。無料運行に関する結果は下のグラフのとおり。

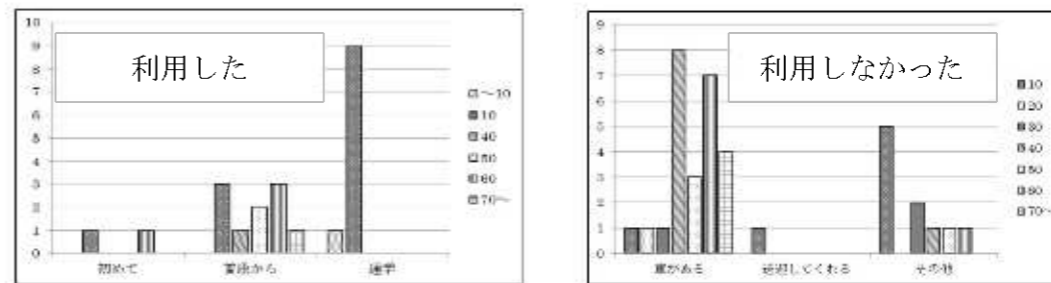
#### 問1 あなたは無料運行を実施していたことを知っていましたか？



#### 問2 「知らなかった」方にうかがいます。無料運行の実施を知っていたら、利用すると思いますか？



#### 問3 「知っていた」方にうかがいます。利用されましたか？



#### 問4 「無料運行で初めて利用した」方にうかがいます。通常運行も利用されましたか？

あるいは利用したいとお考えですか？

10代：まだ乗っていないが通常運行も利用したい。60代：車があるから通常運行は利用しない。

#### 【まとめ】

○回答者121名のうち、50名（4割）が10代であり、他の年代に比して10代の回答数が多くなっている。

○問2「知っていたら利用するか」との質問に対し、自動車を持っている年代でも「利用する」との回答があった。運賃負担の軽減により、自動車があっても「利用してみよう」という動機づけになりうると考えられる。

○今回のアンケートからは、無料運行が実際の利用につながらなかったことがうかがえる。